

家庭科学習指導案

平成〇年〇月〇日 (〇) 第5校時 6年1組 指導者 〇〇 〇〇 (6年1組教室)

<単元・題材名> まかせてね今日の食事		<学習指導要領上の位置づけ> B (1) イ 楽しく食べるために日常の食事の仕方を考え、工夫すること。 B (2) ア(ウ) 材料を忘れた洗い方、調理に適した切り方、味の付け方、盛り付け、配膳及び後片付けを理解し、適切にできること。 B (3) イ 1食分の献立について栄養バランスを考え、工夫すること。
<単元・題材の目標> 一食分の献立を考え、家族が喜ぶ楽しい食事を計画をすることができる。		
評価規準	知識・技能	・献立を構成する要素が分かり、1食分の献立の作成の方法について理解する。 ・環境や安全に気を配った調理をすることができる。
	思考力・判断力 ・表現力	・家族が喜ぶ1食分の献立について栄養バランスを考え、工夫することができる。
	学びに向かう力 ・人間性	・家族の好みや栄養バランスを考えて1食分の献立を工夫することを通して、家族との関わりを深め、日常の食事を楽しくしようと主体的に取り組もうとしている。
生徒実態把握	<本単元につながる既習の学習内容や活動> 児童たちはこれまでに「ゆでる」「いためる」の加熱調理についての基礎的、基本的な知識や技能を身に付け、調理に対する興味や関心も高まっている。また、食物の組み合わせを考えていろいろな食品をバランスよく食べることが健康のためにも必要であることも学習してきた。	
	<既習の学習内容や活動に関わる児童の実態> 1学期に、献立を構成する要素(主食・主菜・副菜・汁物)や、食品に含まれる栄養素について学び、主菜を工夫したバランスの良い食事に関する学習を意欲的に行うことができている。しかし、その学習の中では、「自分のため」の主菜づくりという視点となり、「家族のため」に作るという相手意識を持った調理計画とはならなかった。そのため、相手を想って作る時に意識する、好みや予算などの献立を作る時のポイントについては考えることができている。	

学習過程	時間	伸ばしたい資質・能力 <評価の観点>	中心となる学習活動
見 つ め る ・ つ か む	1	・家族のために1食分の献立を立てるための考えをもつことができる。 <学びに向かう力・人間性>	・二つの献立を比較し、家族が喜んでもらうために作る献立では、どのような工夫をする必要があるのかを考える。 ・家族へのインタビューを行い、各家庭での普段の献立作りで工夫していることを共有する。

追 究 す る	2 本 時	・家族構成に合わせて、工夫して献立を考えることができる。 <思考力・判断力・表現力>	・家族構成の違う家庭に合わせた献立をグループで考え発表し、考えを交流する。
	3	・自分の家族に合わせて、工夫して献立を考えることができる。 <思考力・判断力・表現力>	・自分の家族に合った献立を考え発表し、意見を交流する。
	4 5	・調理計画を立てることができる。 <知識・技能>	・グループで調理に必要な準備や手順について考える。
	6 7	・環境への配慮を工夫しておかずの調理をする。 <知識・技能>	・グループで協力し、環境や安全に気を配りながら調理実習を行う。
ま と め る ・ 生 か す	8	・家庭で実践したことへの感想や意見を交換し、これからの家庭生活に生かすことができる。 <学びに向かう力・人間性>	・各家庭で作った献立について感想や意見を交換し合う。 ・今後の生活で生かしたいことを発表する。

展開（2 / 8 時間）

ねらい：さまざまな家族構成に合わせ、献立を工夫して考えることができる。

準備	ワークシート、献立シート、おぼんシート、献立カード	
時間	資質・能力を育成するための学習活動 ○予想される児童の反応（意識）	資質・能力を育成するための指導上の留意点 目的 ○手立て、配慮事項 ◇評価
8分	<p><学習課題の把握></p> <p>1 前時の学習の振り返りを行うとともに、本時の学習の見通しをもつ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【学習課題】</p> <p>家族全員が喜ぶような献立にするにはどのような工夫をしたらよいか。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><めあて></p> <p>家族構成を意識して、家族全員が喜ぶ献立を考えよう。</p> </div> <p>○このようなポイントを意識して献立を立てればいいのだな。</p> <p>○この家族はお年よりや小さい子どもがいて、どちらも喜んでもらうためにはどのような工夫ができるかな。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>課題の追究で児童が意識する、献立を工夫するポイントを振り返る。</p> </div> <p>○前時の活動を振り返ることで、家族のための献立を考えるために必要な工夫するポイントを振り返ることができる。</p> <p>○身近にあるアニメに登場する家族を取り上げることで、児童が家族構成を理解しやすくする。</p>
32分	<p><課題の追究></p> <p>2 家族のための献立を考える。</p> <p>○弟や妹がいるから、味付けをあまり辛くなくしようかな。</p> <p>○お母さんやお父さんは働いているから、疲れがとれるように野菜を多く使った献立にしようかな。</p> <p>○お年寄りも小さい子どもも喜ぶ献立とは何だろう。</p> <p>3 考えた献立を発表し、交流する。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>さまざまな家族構成の家庭を想定し、その中で表れる献立の工夫を具体的に表現していく。</p> </div> <p>○ワークシートに工夫したことを書かせることで、この後の発表の時に、しっかりと考えを伝えることができる。</p> <p>○献立シートを用いて主食や主菜などを取捨選択することで、選んだものの栄養素を意識しながら考えることができる。</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>さまざまな工夫を知り、考えを深める。</p> </div>

<p>○家族構成が変わると献立で工夫することが変わるのだな。</p> <p>○似たような家族構成でも誰を意識するかで献立で工夫することが変わってくるのだな。</p>	<p>○おぼんシートに献立カード貼ったものをテレビ画面に映しながら発表することで、献立の工夫が伝わりやすくなる。</p> <p>○発表の型を示すことで、抵抗なく発表することができる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇家族構成の違いによって考える献立も変わってくることに気付き、家族の喜ぶ献立を工夫して考えることができる。</p> <p><ワークシート> 【思考力・判断力・表現力】</p> </div>
<p><まとめ></p> <p>5分 4 感想を交流し、本時の振り返りをする。</p> <p>○家族が喜ぶ献立を作るためには、その家族が健康に過ごすことができるような栄養バランスのとれたものや食べやすいものを考えることが大切なのだ。</p> <p>○次時の活動では、自分の家族のためにどのような工夫をしてみようかな。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <p>家族のために献立を作るときに大切なことをまとめる。</p> </div> <p>○児童の学習を振り返ったことばを用いまとめることで、次時につながる考えをクラス全体で共有することができる。</p>

板書計画

めあて

家族構成を意識して
家族全員が喜ぶ献立を考えよう。

栄養バランス

おもに…
おもに…
おもに…

磯野家

家族構成

野比家

家族構成

おぼんシート

おぼんシート

おぼんシート

おぼんシート

おぼんシート

おぼんシート

味の好み

食感

彩り

まとめ

栄養バランスだけでなく、家族の好みや食感、彩りを考えて献立を立てるとよい。